

平成28年2月4日
四国地方整備局
土佐国道事務所

高知南国道路【高知南IC～なんこく南IC】の 一方通行を解除します

高知南国道路「高知南IC～なんこく南IC」間の法面変状箇所について、工事が完了したことから、「高知南国道路法面对策検討委員会」の委員の方々に現地対策工事の施工状況を確認いただきました。

(別紙1参照)

これを踏まえ、予定どおり

「一方通行」を平成28年2月8日(月)6:00に解除します。

なお、一方通行の解除後は、なんこく南IC高知方面行きランプが南側にシフトし完成形に変更となりますので、走行する際にはご注意ください。(別紙2参照)

道路を利用する皆様におかれましては、大変ご迷惑をお掛けしましたが、期間中のご理解・ご協力ありがとうございました。

また、引き続き工事を進めて参りますので、ご理解・ご協力の程よろしくお願いいたします。

本施策は、四国圏広域地方計画「N0.5 圏域の連携による発展に向けた地域力向上プロジェクト」及び「N0.6 防災力向上プロジェクト」の取り組みに該当します。

お問い合わせ先

四国地方整備局

土佐国道事務所

副所長(改築)

○工務課長

TEL088-884-0359(代表)

おき
うえ

沖上
たなか

しげ
と

茂人
もと
ゆき

(内線204)

(内線411)

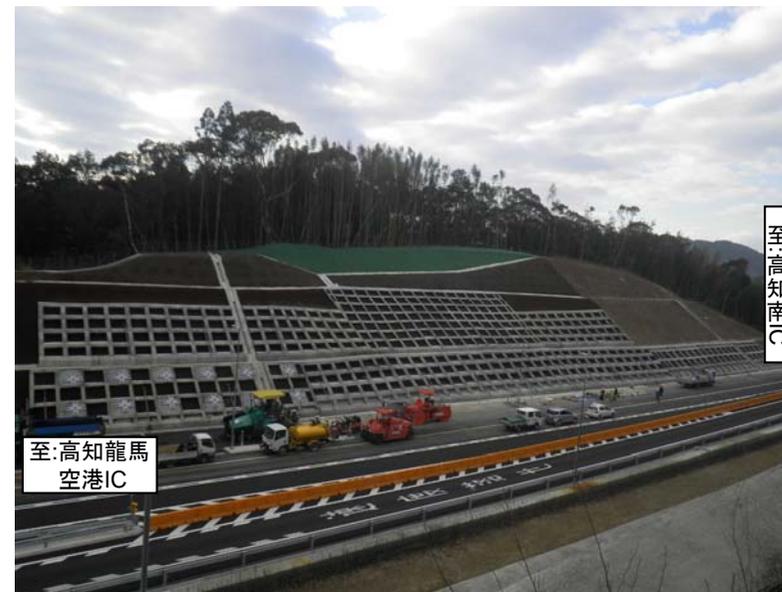
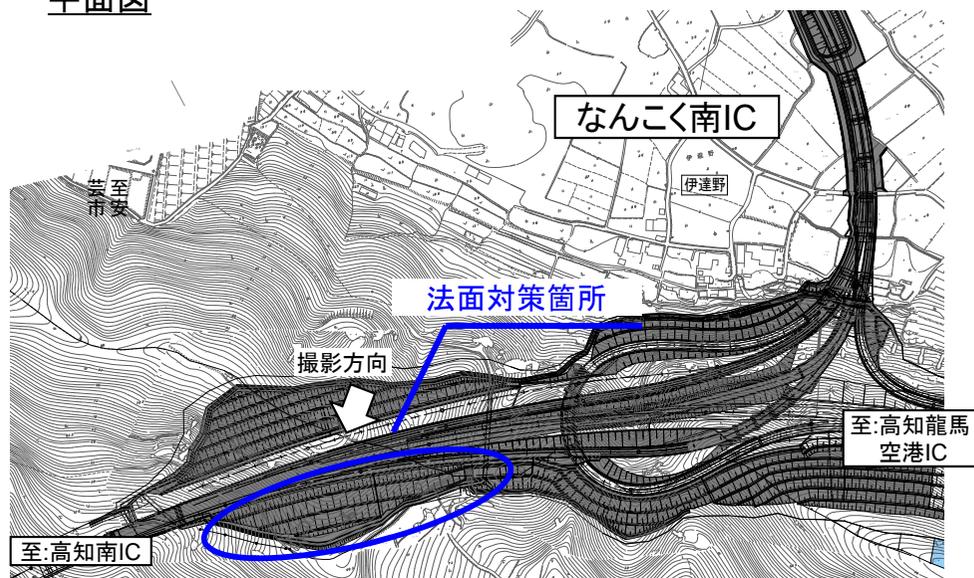
○主な問い合わせ先



土佐国道事務所(とさこく)

- 高知南国道路「高知南IC～なんこく南IC」間の法面については、平成27年7月に大きな変状が生じ、詳細な調査を行った結果、膨潤性鉱物※1が含まれることが判明。
- 平成27年10月29日に「高知南国道路法面对策検討委員会」を開催し、学識者から意見聴取を行い、法面にアンカーを打ち込み強度を確保し、地下水の排水対策等を実施。

平面図



高知南国道路法面对策検討委員会委員名簿

所属	氏名
高知大学 教授(専攻:地盤)	笹原 克夫
高知大学 教授(専攻:地質)	横山 俊治
四国地方整備局 道路情報管理官	山田 敬二



法面对策委員会委員による対策完了の確認

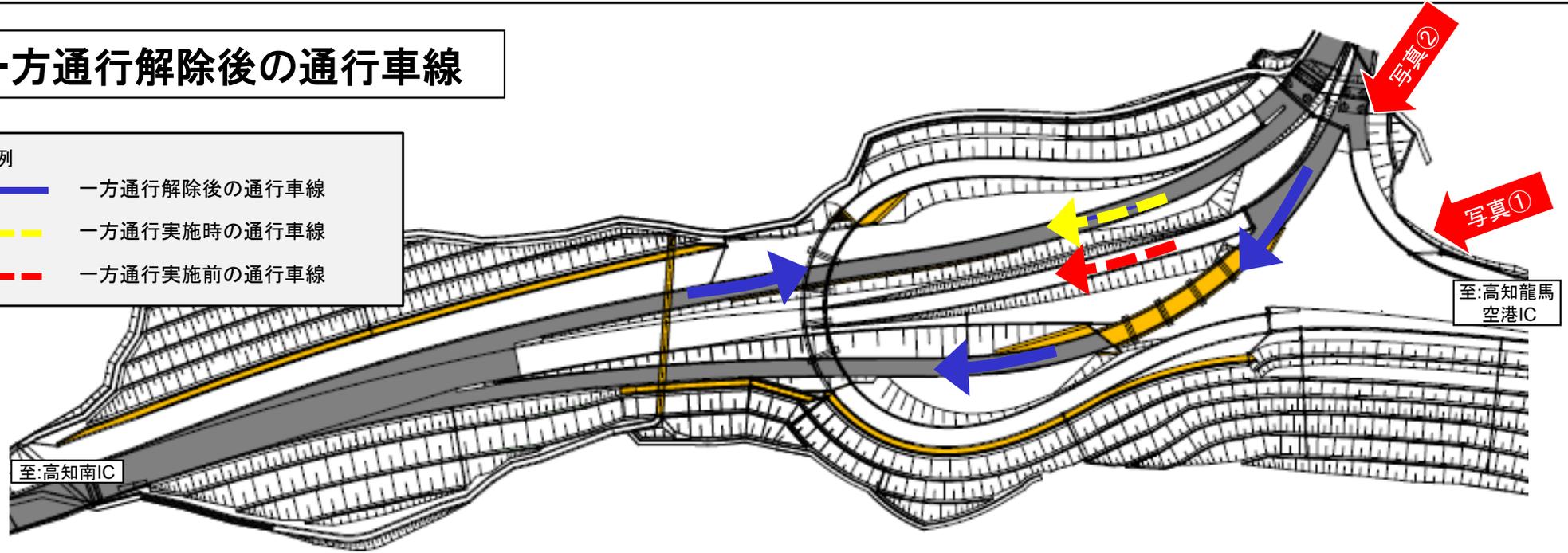
※1. 膨潤性鉱物の概要

- ・平成27年7月の変状を受けて、X線を使った特殊な地質調査を実施した結果、砂岩でありながら吸水すると著しく強度が低下する物質、膨潤性鉱物クロライトを含んだ土質成分であることが判明。
- ・なんこく南IC建設地周辺の地質は、秩父帯に属し、この地質帯において高知県内で膨潤性鉱物が発見された記録は見当たらない物質で、この地域の地質としては「特異な地質」である。

一方通行解除後の通行車線

凡例

- ← 一方通行解除後の通行車線
- ← 一方通行実施時の通行車線
- ← 一方通行実施前の通行車線



※なんこく南IC付近では、工事を引き続き行いますので、ご協力をお願いします。